



那須 英二 議員 日本共産党弥富市議団

問 学校など子どもたちの環境改善を

答 実現可能なことから対応

問 学校給食費の負担減や無償化を本市で行う考えは。

答 **教育部長** 自治体間格差を生まないためにも国主導で行うべき。

問 学校ロッカーの改善は。

答 児童数を見ながら検討。

問 児童クラブで給食や弁当の手配の考えは。

答 **健康福祉部長** 考えていない。

問 児童クラブの多子世帯に対する負担軽減の考えは。

答 近隣自治体平均を下回る金額設定で生活保護世帯等に減免制度を設定しているため、多子世帯の減免は考えていない。

問 保育所の給食費軽減または無償化の考えは。

答 公定価格上昇の中、副食費を据え置き負担軽減しており、更なる軽減や無償化は考えていない。

問 保育所の育休退所は解消されたか。

答 令和7年度から退所基準を2歳未満児に見直し、継続入所可能。

問 3か月、6か月から預けられる保育所はどこか。

答 月齢3か月入所可能施設は弥生保育所。月齢6か月入所可能施設は認定こども園2か所。

問 土曜日の給食は平日と変わるか。

答 土曜日午後保育の利用開始に伴った変更はない。



▲桜小学校ロッカー

問 命をつなぐ防災・避難の計画を

答 市民と共に進めていく

問 防災計画・避難計画に対して市の自己評価はどの程度か。

答 **総務部長** 各種計画は適正。

問 収容人数の試算が一人当たり1㎡になっているが、2㎡にする考えは。

答 独自で面積基準を変更する予定はない。

問 海拔ゼロメートル以下の避難所を浸水しないように対策する考えは。

答 施設の構造や立地条件等により大変困難。

問 避難所にエアコンを整備する計画は。

答 優先順位など各種事業計画を精査し、国の補助事業を活用して検討。

問 学校や保育所の食糧や水等の備蓄を増やす必要があるのでは。

答 命と生活環境に直結する必需品は、国のプッシュ型支援にて供給。

問 防災運動会を行っては。

答 各地区のコミュニティ推進協議会主催の防災訓練の中に、防災運動会の要素を盛り込んだ形での実施は有意義と考える。

問 防災・避難計画について市長の現状認識と改善に対する考えは。

答 **市長** 実態に沿った防災対策を実施するために、国や県の各種方針を取り入れている。